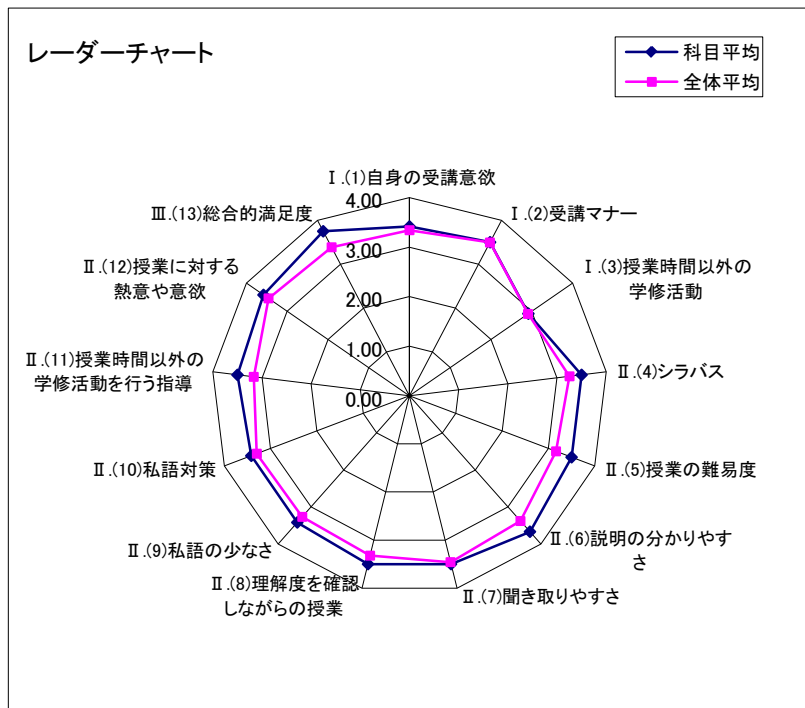
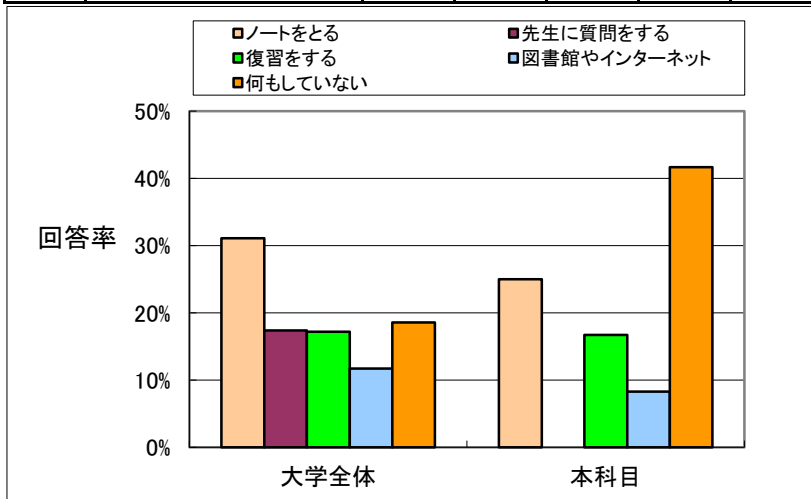


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	25.0	0.0	16.7	8.3	41.7



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.42	3.34
	I.(2)	3.50	3.49
	I.(3)	2.92	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.50	3.26
	II.(5)	3.50	3.16
	II.(6)	3.67	3.38
	II.(7)	3.50	3.46
	II.(8)	3.50	3.32
	II.(9)	3.42	3.27
	II.(10)	3.42	3.30
	II.(11)	3.50	3.17
	II.(12)	3.58	3.46
	総合評価	III.(13)	3.75

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.28	3.25
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.51	3.31
II.(4)~(12)		
総合評価	3.75	3.39
III.(13)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	4406
科目名	基礎英語Ⅱ/英語コミュニケーションⅡ
教員名	

①授業計画の達成度について

シラバスの計画どおり無事にすべての内容を終わることができた。難易度についてはアンケートの結果からも大部分の学生にとってはほぼ適切であったと思われるが、一部にそうではない学生がいたことも事実であった。

②授業の進め方について

おむねプラスの評価が多かったのではないかと思います。授業はテキストに沿って進め、さらに理解度をチェックしながら高めていくためにドリル形式のプリントを別途作成し、英文と語句の板書を徹底した上で英文の穴埋めと語句の確認をさせ、毎回その内容をプリントに書かせることによって英語の基礎学力の確認と向上を目指した形で授業を進めることがアンケートにプラスに影響した部分は少なからずあったと思われる。ただ私語が一部とは言え少なからずあったことも事実である。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

来年度もテキストとそれに基づく理解度チェックのためのドリル形式のプリントを使用し、英文と語句の徹底した板書による授業をさらに充実したものにしていきたい。ただ1時間毎の内容量は決して少ないとは言えず、90分という限られて時間では互いに少なからず忍耐力が必要であり、毎回1ユニットを終えるためには多少早口になってしまっていたかもしれない。またそのことが授業内容の理解をかえって妨げてしまっていた面もなかったとは言えないであろうし、それが私語につながっていた部分もあったかもしれないし、反省点の1つと言えるかもしれない。